

授業情報			
開講年度	2019年度	開講箇所	グローバルエデュケーションセンター
科目名	数学基礎プラスβ(最適化編) O2		
担当教員	高木 悟／曾布川 拓也／遠藤 直樹／野口 和範		
学期曜日時限	秋クォーター 01:無フルOD		
科目区分	数学科目	配当年次	1年以上
使用教室		キャンパス	
科目キー	9S02000004	科目クラスコード	O2
授業で使用する言語	日本語		
コース・コード	MATX1040		
大分野名称	数学		
中分野名称	数学		
小分野名称	数学		
レベル	初級レベル(入門・導入)	授業形態	オンデマンド
	オープン科目 フルオンデマンド授業		

シラバス情報							
副題	利益の最大化は損失を最小にするか？						
授業概要	<p>※01・02とも同一内容です。1つしか履修できません。</p> <p>★重要★ 本授業は、ガイダンス・講義・小テスト・アンケート・最終試験をすべて Course N@vi で実施する「フルオンデマンド授業」である。履修登録の前に、必ず以下のURLで受講環境を確認し、すべて承知のうえで履修登録すること。 早稲田大学ITサービスナビ → 各種システムの推奨環境 http://www.waseda.jp/navi/services/system/sys_requirements.html ※大学が推奨している環境以外での受講による不具合については対応しません。 ※自宅のPCでオンデマンド授業が受講できない場合には、学内のPC教室で受講すること。</p> <p>本科目は、早稲田大学の全学基盤教育「数学基礎プラス」シリーズの1つであるが、α(最適化編)の上位レベルのため、以下のうち少なくとも1つの条件を満たす学生のみ履修すること(文系学生で自信がなければα(最適化編)を履修すること)。 (1)「数学基礎プラスα(最適化編)」の単位を修得している (2)「行列の定義と演算(和・実数倍・積)」・「連立1次方程式と行列の関係」のすべてを理解している (3)下記URLにある【placement test(最適化編)】(レベル分け問題)のβ(最適化編)レベル全問正解 https://www.waseda.jp/inst/gec/gec/academic/math/ なお、α(最適化編)で学習する最適化問題については、このβ(最適化編)でも最初から講義するので最適化問題についての知識がない学生でも上述の数学が理解できていれば問題ない。</p> <p>「限られた資源の中でいかに利益を最大にするか？」あるいは「どうしても発生する損失をいかに最小にするか？」といった問題は最適化問題といわれ、実社会でもよく現れる。本科目では、行列や連立1次方程式の数学知識を身に付けている学生を対象に最適化問題、特に線形計画問題の双対定理と最小問題の解決法(線形計画法という)を講義する。さらに、線形計画法をより深く理解するために、連立1次方程式の解のしくみについても学習する。最終的に最適化問題がたやすく解決できるような数学的能力の習得と、そのしくみの理解を到達目標としている。また、論理的思考能力についても、本科目を受講することにより自然と身に付けられるよう専用の教科書を用いて講義する。 上述のとおり、「数学基礎プラスα(最適化編)」の単位を修得した、あるいはある程度の数学知識のある学生を主な対象としているが、文系学生でも理解できるようわかりやすく講義する。また、本科目を含む「数学基礎プラス」シリーズでは、教務補助のLA(教育コーチ)による対面指導のほか、Course N@vi のBBS(電子掲示板)や質問用ML(メーリングリスト)の質問制度を用意しているため、授業内容で理解できなかった点や質問したい点を気軽に聞くことができる。おおいに利用し、理解を深めてほしい。</p>						
授業の到達目標	数学の基礎知識(行列の簡約化と階数・連立1次方程式の不能解と不定解・逆行列、行列式の計算)、最適化の基礎知識(双対定理・最小問題)、論理的思考能力が身に付く。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> #1. 連立1次方程式と掃き出し法 連立1次方程式を行列で表す、簡約行列、掃き出し法 #2. 行列の階数 連立1次方程式の解の構造、行列の階数、階数と解の存在 #3. 逆行列と行列式1 逆行列、行列式(2次正方行列の場合)、逆行列と連立1次方程式(2次正方行列の場合) #4. 逆行列と行列式2 逆行列の求め方(簡約化)、行列式入門 #5. 最大問題 線形計画問題の最大問題、シンプレックス法、シンプレックス法の基本操作 #6. 最小問題 最大問題から最小問題へ、主問題と双対問題、双対定理 #7. 複雑な最小問題 3変数の最小問題、0でないサープラス変数をもつ最小問題 #8. 総復習と最終試験 総復習、最終試験 						
教科書	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスβ(最適化編)2019」早稲田大学出版部 2019年 早稲田大学内の生協で取り扱っています。一般の書店で取り寄せてもらうことも可能です。						
参考文献	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスα(最適化編)」早稲田大学出版部 (2015年以降の発行であればどれでもよい) 三宅敏恒 著「線形代数学-初歩からジョルダン標準形へ-」培風館 2008年 E. ドウリング 著「例題で学ぶ入門・経済数学(上)(下)」シーエービー出版 1995年 今野浩 著「線形計画法」日科技連出版社 1987年 高木悟・長谷川研二・熊ノ郷直人・菊田伸・森澤貴之 共著「理工系のための線形代数[改訂版]」培風館 2018年						
成績評価方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>割合</th> <th>評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験: 30%</td> <td>#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。</td> </tr> <tr> <td>平常点評価: 70%</td> <td>#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。</td> </tr> </tbody> </table>	割合	評価基準	試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。	平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。
割合	評価基準						
試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。						
平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。						
備考・関連URL	Course N@vi によるフルオンデマンド授業であるが、対面による質問相談受付などフォロー体制を整えているので、数学が苦手な学生も安心して						

受講できる。
本科目を受講することにより、数学に対する考え方、ものの見方が変わるであろう。

本学の定める本クォーター開始日の00:00から#1(第1回)がスタートする。
秋クォーターのクラスは科目登録の2次登録者にも配慮し、#1の小テスト等の締め切りを延長する。
詳しい授業スケジュールについては、履修登録後に Course N@vi 本科目内のガイダンス動画を必ず視聴して確認すること。